

オンライン環境でのアクティブ・ラーニング

2020年、世界の構図がCOVID-19によって激変しました。教師は、数週間の準備期間でオンライン授業への移行を余儀なくされ、学習者はひとり画面に向かって膨大な量の宿題を黙々とこなす日々を強いられています。この状況下で教師であるみなさんはこのようなことを思うはずで、「対面授業はいつになったらできるんだろう？」と。私もその一人です。では、なぜこのような対面授業への回帰思考が生まれるのでしょうか。教育効果が高いから？授業は本来教室で行うものだから？上記の問いに明確に答えることはとても難しいのではないのでしょうか。

本セミナーでは、オンライン授業と対面授業の利点・欠点について概観し、オンライン授業でアクティブ・ラーニングを実現するには、どのような点に気を付けるのが良いかについて一緒に考えていきます。最終目標は、COVID-19が終息した後もオンラインの利点を取り入れた対面授業を構築するための判断基準を持てるようになることです。

参加登録はこちらから:

2020年10月3日(土)午前



国際発表会ウェブサイト:

参加案内動画:

<https://youtu.be/79ZaCkm1OfI>



山田智久先生

講師プロフィール

北海道大学准教授（高等教育推進機構国際教育研究部／大学院国際広報メディア・観光学院）

ロンドン大学教育研究所よりMA、北海道大学より博士号（学術）を取得。ロンドン大学東洋アフリカ学院ランゲージセンター、佐賀大学留学生センターを経て2012年より現職。研究領域は教育学と教師教育。研究活動の傍ら、日本語教師のICTリテラシー向上を目指した講演・研修活動にも積極的に関わっている。北海道大学エクセレント・ティーチャーズ（平成26～29年度）。主な著書に『ICTの活用（第二版）』、『日本語教師のためのアクティブ・ラーニング』（くろしお出版）等がある。